



2021年3月期 第3四半期 決算説明会

2021年2月12日
パーソルホールディングス

1. 2021年3月期第3四半期累計 決算概要
2. 2021年3月期通期 業績予想

Point 1

2021年3月期第3四半期累計 決算概要

- 上期に続き、売上高はStaffing SBU等で増収となった一方、COVID-19の影響による企業の採用抑制の動きを受け、Career SBUにおいて減収となり、グループ全体では減収、営業利益は減益

Point 2

2021年3月期通期 業績予想

- 緊急事態宣言の発出に伴う影響を見極める必要があるため、通期予想は売上高9,400億円、営業利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益145億円のまま一旦据え置き

**2021年3月期
第3四半期累計 決算概要**

2021年3月期第3四半期累計決算概要（連結）

上期に続き、売上高はStaffing SBU等で増収となった一方、COVID-19の影響による企業の採用抑制の動きを受け、Career SBUにおいて減収となり、グループ全体では減収、営業利益は減益

単位：百万円	20/3期 第3四半期累計	21/3期 第3四半期累計	増減比	通期業績予想 (ご参考)
連結売上高	721,160	703,838	△2.4%	940,000
営業利益	28,403	22,308	△21.5%	25,000
営業利益率	3.9%	3.2%	△0.7pt	2.7%
EBITDA	41,358	35,119	△15.1%	41,700
四半期 純利益*	△654	12,817	—	14,500
調整後EPS(円)	95.80	81.61	△14.8%	98.66

*親会社株主に帰属する四半期純利益

2021年3月期第3四半期累計決算概要 (SBU別 売上高)

単位：百万円	20/3期 Q3累計実績	21/3期 Q3累計実績	コメント (前年同期比)
Staffing	379,306	394,369	<ul style="list-style-type: none"> 人材派遣領域は、稼働人数が減少に転じるも、同一労働同一賃金による請求単価の上昇が寄与し増収 BPO領域は、受託案件の獲得が進み、増収
Career	63,923	43,310	<ul style="list-style-type: none"> 「an」事業の終了(2019年11月)に加え、COVID-19の影響により企業の採用への慎重姿勢が継続し、大幅減収
Professional Outsourcing	76,984	82,377	<ul style="list-style-type: none"> IT領域は、需要が旺盛で高成長を維持 エンジニアリング領域は企業の開発予算削減の影響を受け減収となるが、回復傾向
Solution	5,045	3,783	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19の影響に加え、転職アプリ事業の原則的会計処理の適用により減収 (影響額約△10億円)
Asia Pacific (APAC)	202,837	186,789	<ul style="list-style-type: none"> アジアでは、COVID-19の影響を受け減収 豪州では、一時的なロックダウンによる影響や豪ドル安の影響を受け減収
その他	7,307	8,449	<ul style="list-style-type: none"> 内製化によるグループ内からの受託が増え、障害者雇用事業が好調に推移し増収
調整	△14,242	△ 15,240	—

2021年3月期第3四半期累計決算概要（SBU別 営業利益）

単位：百万円	20/3期 Q3累計実績	21/3期 Q3累計実績	コメント（前年同期比）
Staffing	17,964	24,670	・人材派遣領域およびBPO領域の増収効果により増益
Career	10,367	△ 328	・マーケティング費や人員の再配置による人件費等、コスト削減に取り組むも、減収により赤字となるが、Q3ではQ2と比較して赤字幅は縮小し、回復基調へ
Professional Outsourcing	3,240	2,471	・人員の拡充およびエンジニアリング領域での未稼働技術者の発生により、売上高人件費率が増加し、減益
Solution	△851	△ 3,793	・人員拡充等の投資の継続や、転職アプリ事業の原則的会計処理の適用もあり赤字計上（影響額約△10億円）
Asia Pacific (APAC)	△859	△ 980	・APACで収益性の高い人材紹介事業の減収に加え、豪州では一時的なロックダウンの影響を受けたこと等で赤字計上
その他	△151	△ 597	・主に研修事業でCOVID-19の影響を受け、赤字拡大
調整	△1,306	866	・COVID-19の影響により中計関連の投資が遅れたことに加え、販管費削減の結果、黒字計上

(ご参考)

2021年3月期

第3四半期（単体）決算概要

連結四半期業績推移

当第3四半期においては、Staffing SBUとProfessional Outsourcing SBUは増収となったものの、COVID-19の影響を受け、Career SBUとAPAC SBUの売上高が大きく減少し、前年同期比、減収。営業利益は、Q2を底に回復

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	240,586	235,218	243,738	242,204	249,411	238,222	227,533	238,083
YoY(%)	5.9%	4.1%	7.7%	4.0%	3.7%	1.3%	△6.6%	△1.7%
営業利益	12,036	10,057	10,058	8,287	10,681	9,115	4,760	8,432
OPM(%)	5.0%	4.3%	4.1%	3.4%	4.3%	3.8%	2.1%	3.5%
EBITDA	16,242	14,416	14,532	12,410	14,997	13,389	8,962	12,767
EBITDA Margin(%)	6.8%	6.1%	6.0%	5.1%	6.0%	5.6%	3.9%	5.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,622	5,466	△10,643	4,522	8,266	4,670	2,974	5,173

当第3四半期は、引き続き、BPOが大きく伸長。また、事務領域は堅調に推移しており、増収増益に

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	122,101	122,189	126,130	130,986	130,871	130,678	129,605	134,086
YoY(%)	-	5.5%	10.0%	8.6%	7.2%	6.9%	2.8%	2.4%
営業利益	5,343	5,823	5,333	6,806	5,905	8,921	7,387	8,361
OPM(%)	4.4%	4.8%	4.2%	5.2%	4.5%	6.8%	5.7%	6.2%
EBITDA	6,334	6,765	6,298	7,759	6,885	9,914	8,283	9,265
EBITDA Margin(%)	5.2%	5.5%	5.0%	5.9%	5.3%	7.6%	6.4%	6.9%
稼働日数(日)	57	59	59	61	58	61	58	61

【当四半期に関するコメント】

- 売上高は前年同期比+2.4%の増収。主な要因は単価上昇+5.0%、稼働時間増加+1.9%、稼働者数減△5.4%（稼働日は前年同期と同日数）、その他+0.9%となり、BPO領域の増収も大きく寄与
- 新規の受注数の減少により確定数は前年同期を下回っているものの、契約終了数が前年同期比△22%と減少しており、稼働者数はQ2よりフラットを維持
- 受注数はCOVID-19の影響により大きく落ち込んだQ1と比較し、Q3では前年同期比約7割の水準まで順調に回復
- 同一労働同一賃金による派遣スタッフの通勤手当等の増加に伴い社会保険料が増額となった一方で、BPO領域での収益率改善が寄与し、売上総利益率は、前年同期比+1.5ptの改善
- BPO領域は通期で前期比大きく増収・増益となるとともに収益性も向上し、今後の当SBUの成長に寄与する見込み

※19/3期のYoYは、セグメント変更により18/3期の比較数値がないため「-」としている（以下同じ）

当第3四半期は、引き続き、人材紹介事業・広告事業ともにCOVID-19の影響を受け、減収、赤字計上となるが、Q3単体では赤字幅は縮小し回復基調へ

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	23,577	23,549	22,259	18,114	19,526	16,827	12,887	13,595
YoY(%)	-	13.6%	9.6%	△14.6%	△17.2%	△28.5%	△42.1%	△24.9%
営業利益	4,784	4,703	4,393	1,271	2,900	1,505	△1,367	△466
OPM(%)	20.3%	20.0%	19.7%	7.0%	14.9%	8.9%	△10.6%	△3.4%
EBITDA	5,521	5,414	5,146	2,047	3,697	2,316	△526	395
EBITDA Margin(%)	23.4%	23.0%	23.1%	11.3%	18.9%	13.8%	△4.1%	2.9%

【当四半期に関するコメント】

- 人材紹介事業、広告事業ともに受注の減少は底を打っている一方で、COVID-19感染拡大前の水準への回復には一定程度時間が掛かる見込み
- 人材紹介事業の受注はCOVID-19の影響を大きく受けたQ1と比較すると回復しており、Q3においては前年同期比約75%水準まで回復
- 広告事業の受注も回復傾向にあり、Q3では前年同期比約75%の水準まで回復。期末に向けて緩やかな回復を見込む
- 上期に実施した人員の再配置によりQ3の人件費は大きく削減。マーケティング費用の削減等、コスト削減を継続実施

Professional Outsourcing SBU

PRO



当第3四半期も、IT領域で旺盛な需要があり、全体の売上は順調に推移。営業利益はエンジニアリング領域の稼働率の回復により、前年同期並みで着地

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	26,194	24,008	26,126	26,850	28,842	26,415	27,281	28,680
YoY(%)	-	8.2%	9.7%	7.2%	10.1%	10.0%	4.4%	6.8%
営業利益	2,440	271	1,449	1,519	3,070	315	674	1,481
OPM(%)	9.3%	1.1%	5.5%	5.7%	10.6%	1.2%	2.5%	5.2%
EBITDA	2,901	677	1,866	1,982	3,216	683	1,049	1,861
EBITDA Margin(%)	11.1%	2.8%	7.1%	7.4%	11.2%	2.6%	3.8%	6.5%

【当四半期に関するコメント】

- 全般的にITエンジニアに対する需要は旺盛であり、旧ITOセグメントの売上高が+20%程度と高成長を維持したことで、前年同期比増収
- 営業利益は、主に自動車領域で苦戦をしていた旧エンジニアリングセグメントで新卒技術者の配属や、未稼働の技術者の配属が進んだ結果、前年同期並みで着地
- IT領域の稼働率は95%を超え平常時の稼働率で安定推移。一方、エンジニアリング領域は、グループ内での営業連携の強化による新規受注等で、足許の稼働率は90%を超える水準まで回復

当第3四半期は、今期より転職アプリ事業において、原則的会計処理方針を適用したことに伴う影響は、売上高△2.9億円、営業利益△2.8億円。人員の拡充をはじめとした投資拡大により赤字計上

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	478	1,351	1,837	1,856	1,967	952	1,237	1,593
YoY(%)	-	213.8%	392.9%	281.2%	310.8%	△29.5%	△32.6%	△14.2%
営業利益	△114	△299	△175	△376	△768	△1,437	△1,260	△1,095
OPM(%)	△23.9%	△22.1%	△9.6%	△20.3%	△39.0%	△150.8%	△101.8%	△68.8%
EBITDA	△112	△248	△111	△302	△340	△1,204	△1,018	△781
EBITDA Margin(%)	△23.4%	△18.4%	△6.1%	△16.3%	△17.3%	△126.4%	△82.3%	△49.0%

【当四半期に関するコメント】

- 転職アプリ事業は、企業の採用費の削減傾向は未だ続くも、積極的な営業活動により、原則的会計処理の適用による影響を除外すると実質増収で着地
- クラウドPOS事業は、COVID-19の影響による飲食店の景況感悪化から、主に店舗への新規設置に苦戦しながらも、累計の導入店舗数が前年同期比で増加したことにより、若干の増収
- 市況は厳しい中、事業規模拡大のKPIは引き続き、増加傾向で推移
 - ↳ 転職アプリ事業においては、累計アカウント企業数は前年同期比で約2.4倍と大幅に増加
 - ↳ クラウドPOS事業においては、導入頂いた累計店舗数が前年同期比で約1.1倍と増加

Asia Pacific (APAC) SBU

当第3四半期は、回復基調にあるものの一部地域におけるロックダウンの影響もあり、全体では減収
(APACは3ヵ月遅れで連結のため、7月から9月の実績)

(単位：百万円)	19/3期		20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	
売上高	70,756	67,012	69,584	66,240	70,403	65,980	58,684	62,124	
YoY(%)	-	△2.5%	△0.4%	△2.9%	△0.5%	△1.5%	△15.7%	△6.2%	
営業利益	505	△156	△126	△575	451	△116	△561	△303	
OPM(%)	0.7%	△0.2%	△0.2%	△0.9%	0.6%	△0.2%	△1.0%	△0.5%	
EBITDA	2,210	1,874	1,868	960	2,060	1,390	947	1,217	
EBITDA Margin(%)	3.1%	2.8%	2.7%	1.4%	2.9%	2.1%	1.6%	2.0%	
豪GDP成長 (%)	2.2%	1.7%	1.4%	1.7%	2.2%	1.4%	△7.0%	△3.8%	
為替 (円/USD)	110.4	110.2	110.1	109.1	109.0	108.9	108.2	107.5	
為替 (円/AUD)	82.6	78.5	77.7	76.3	75.8	71.6	71.1	72.8	

【当四半期に関するコメント】

- Q2～Q3（現地4月～9月）が業績のボトム。Q4（現地10月～12月）以降は回復していく見込み
- PERSOLKELLYは、シンガポールにおける人材派遣事業の堅調な推移や中国での人材紹介事業の回復は見られたものの、その他地域での売上が減少し、減収。一方、PROGRAMMEDへのオーストラリア事業の移管や、人件費等コスト削減効果もあり、増益
- PROGRAMMEDは、Staffing事業のブルーカラー派遣事業の回復スピードが緩やかであることや5%弱の豪ドル安もあり、減収。利益面は、PERSOLKELLYから移管されたオーストラリア拠点の黒字化が寄与したものの、ビクトリア州における8月から9月のロックダウンもあり、Maintenance事業の高収益な塗装系サービスに影響が出たことにより、減益で着地

その他

当第3四半期は、主に内部取引である障害者雇用事業の売上が堅調に推移したこと、また、COVID-19の影響を受けていた研修事業が回復傾向にあることから、黒字計上

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	1,531	1,731	2,585	2,989	2,803	2,364	2,656	3,428
YoY(%)	-	22.0%	115.5%	86.8%	83.1%	36.5%	2.7%	14.7%
営業利益	△273	△3	△202	54	△275	△455	△405	263
OPM(%)	△17.8%	△0.2%	△7.8%	1.8%	△9.8%	△19.3%	△15.3%	7.7%
EBITDA	△251	0	△131	148	△197	△380	△329	350
EBITDA Margin(%)	△16.5%	0.0%	△5.1%	5.0%	△7.0%	△16.1%	△12.4%	10.2%

【当四半期に関するコメント】

- 売上は、内製化によるグループ内取引が増加したことを受け、障害者雇用事業が好調に推移したことにより増収
- 営業利益は、障害者雇用事業の増収効果に加え、COVID-19の影響を受けた研修事業が回復傾向にあることから前年同期比で増益

調整額（コーポレートおよび連結調整）

当第3四半期は、中期経営計画関連の投資の遅れおよび販管費削減の結果、黒字で着地

(単位：百万円)	19/3期	20/3期				21/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	△4,054	△4,624	△4,785	△4,833	△5,003	△4,995	△4,819	△5,425
YoY(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	△649	△281	△612	△413	△602	382	292	191
OPM(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
EBITDA	△361	△66	△404	△184	△325	669	556	457
EBITDA Margin(%)	-	-	-	-	-	-	-	-

【当四半期に関するコメント】

- COVID-19の影響を受け、中期経営計画関連の投資が遅れていることにより前年同期比で利益改善

2021年3月期通期 業績予想

2021年3月期業績見通し

- ◆ 緊急事態宣言の発出に伴う影響を見極める必要があるため、前回発表した予想数値を一旦据え置き

(百万円)	20/3期 通期 (ご参考)	21/3期 通期予想	前期比(%)
連結売上高	970,572	940,000	△3.1%
営業利益	39,085	25,000	△36.0%
EBITDA	56,356	41,700	△26.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,612	14,500	90.5%
調整後EPS(円)	148.44	98.66	△33.5%

2021年3月期業績予想（SBU別売上高）

(単位：百万円)	21/3 Q3累計 (実績)	21/3 Q4 (予想)	21/3 通期 (予想)	ご参考 20/3 Q3累計	ご参考 20/3 Q4	ご参考 20/3 通期
連結売上高	703,838	236,161	940,000	721,160	249,411	970,572
Staffing	394,369	127,930	522,300	379,306	130,871	510,177
Career	43,310	15,989	59,300	63,923	19,526	83,449
Professional Outsourcing	82,377	30,222	112,600	76,984	28,842	105,826
Solution	3,783	2,216	6,000	5,045	1,967	7,012
Asia Pacific (APAC)	186,789	60,610	247,400	202,837	70,403	273,241
その他	8,449	3,250	11,700	7,307	2,803	10,111
調整	△15,240	△4,059	△19,300	△14,242	△5,003	△19,246

2021年3月期業績予想（SBU別営業利益）

(単位：百万円)	21/3 Q3累計 (実績)	21/3 Q4 (予想)	21/3 通期 (予想)	ご参考 20/3 Q3累計	ご参考 20/3 Q4	ご参考 20/3 通期
連結営業利益	22,308	2,691	25,000	28,403	10,681	39,085
Staffing	24,670	4,429	29,100	17,964	5,905	23,869
Career	△328	328	0	10,367	2,900	13,268
Professional Outsourcing	2,471	1,368	3,840	3,240	3,070	6,310
Solution	△3,793	△1,086	△4,880	△851	△768	△1,619
Asia Pacific (APAC)	△980	90	△890	△859	451	△408
その他	△597	△512	△1,110	△151	△275	△427
調整	866	△1,926	△1,060	△1,306	△602	△1,909

2021年3月期業績予想（SBU別EBITDA）

(単位：百万円)	21/3 Q3累計 (実績)	21/3 Q4 (予想)	21/3 通期 (予想)	ご参考 20/3 Q3累計	ご参考 20/3 Q4	ご参考 20/3 通期
連結EBITDA	35,119	6,580	41,700	41,358	14,997	56,356
Staffing	27,463	5,416	32,880	20,823	6,885	27,709
Career	2,185	1,114	3,300	12,607	3,697	16,305
Professional Outsourcing	3,595	1,734	5,330	4,527	3,216	7,744
Solution	△3,004	△925	△3,930	△663	△340	△1,003
Asia Pacific (APAC)	3,555	1,574	5,130	4,702	2,060	6,763
その他	△359	△680	△1,040	16	△197	△181
調整	1,683	△1,653	30	△655	△325	△981

当資料取り扱い上の注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2021年2月12日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

本資料に含まれる数値、指標は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進する事を目的として開示しており、すべての数値、指標が監査法人による監査またはレビューの対象ではない点にご留意ください。